

半髪

の人はあはせ髪といふに結束けり、かきびんは、耳のうへより前髪の際迄、かきあげて束ぬ、あはせ髪は左右の髪髪を髻の下へ合せて、まげは別に束ぬる也、此兩様の束髪、近歳は更に見へず、絶たり、今も歌舞妓狂言の由良之助は合せ髪にゆふも有り、

〔諸例集六〕一亂髪、總髪、半髪、薙髪、剃髪等、右之體を問合、

柳生播磨守答

西八月○嘉永二年
松平駿河守方問合

一亂髪 總髪 半髪 薙髪 剃髪

右何レも如何様之體を申候哉、心得置度候、

書面、總髪者月代無之、薙髪者髻を切、剃髪者髪を剃候事ニ候、亂髪、半髪者名目無之、

但、半髪者、若年ニ而、袖留、半髪之事ニ而者無之儀と存候、

〔諸例集八〕嘉永七寅年三月十九日、御右筆中島彦四郎より爲問合書面差越、柳生播磨守答、

万石以上、半髪。袖留罷在候間、初而御目見不苦哉之事、

三月

書面之通者、不苦儀と存候、

〔松屋筆記九十八〕なで付髪、そりさげ髪、

元和九年五月十五日、御法度條々に、一**大びたひの事**、一**大なでつけ**、**大そりさげの事**云々、正保二年七月十八日、御法度條々に、一**大なでつけ**、一**大びたひ**、一**大そりさげ**、一**大ひげ**云々、按大なでつけは、總髪を結もせず、なでつけて、後さまに垂たるなるべし、大びたひは、額を抜たるなるべし、大

ナデツケ
ソリサゲ